



(2) ^{もくれい}木冷^{かんせい}ぜきの完成

「^{もくれいざわ}木冷沢の上流でせきをつくり、沢にそって水を引いて^{うわのほら}上野原に持ってくる。そして、三つの村に水を流せば……。」

しかし、^{もくれいざわ}木冷沢の急ながけにせきをつくることは、たいへんなことなので、三つの村は、若松の役所に^{やくしよ}願^{ねが}いを出し、工事を進めることにしました。1710年ごろ、^{もくれい}木冷^{かんせい}ぜきが完成し、新しいたくさん^の田ができました。